

デマンド通報プログラム

取扱説明書



株式会社 近計システム

目次

	頁
1. はじめに.....	3
1-1 必要環境.....	4
1-2 画面の説明.....	4
1-2-1 モニタ画面.....	5
1-2-2 設定画面.....	6
1-2-3 警報発生時の表示.....	8
2. インストールとアンインストール.....	9
2-1 必要ファイルについて.....	9
2-2 Microsoft .NET Framework3.5 SP1 をインストールする.....	9
2-3 デマンド通報プログラムをインストールする.....	9
2-4 デマンド通報プログラムをアンインストールする.....	11
3. 操作方法と動作.....	12
3-1 デマンド通報プログラムの起動と終了.....	12
3-2 Windows 7 上での操作.....	13
3-3 設定方法.....	14
3-4 タスクトレイアイコン.....	14
3-5 バージョン確認.....	15
4. 補足.....	16
4-1 トラブルシューティング.....	16
4-2 通信異常.....	19
5. 問い合わせ先.....	19

1. はじめに

このプログラム『デマンド通報プログラム』はデマンド値を監視するための無償（フリー）ソフトウェアです。

PC上で動作し弊社製デマンドモニタ(DMX-1000,DMX-2000)より現在電力やデマンド警報を取得しポップアップ表示を行います。

● 自動ポップアップ機能

現在電力値によるトリガー（設定要）、デマンド警報発生（設定不要）により、デスクトップ上に自動でポップアップ表示される機能です。

また、ポップアップ表示時にビープ音にてお知らせする機能を有します（設定要）。

● 自動データ更新機能

表示は1分（または5分）毎にデータを更新しますので簡易モニタとしても使用いただけます。

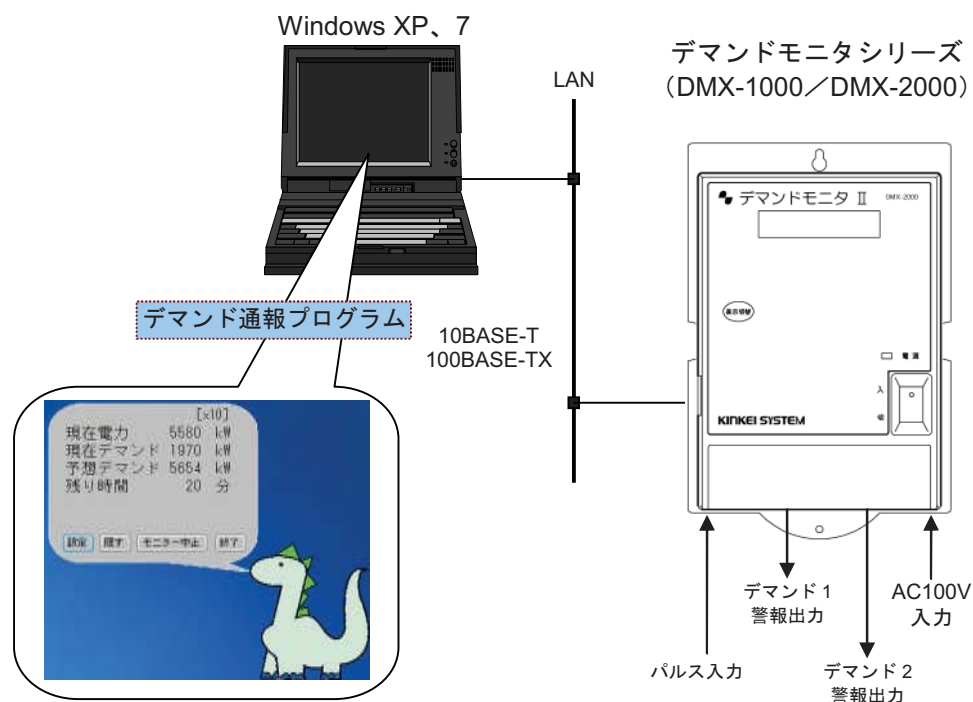
注意事項

- ・ネットワーク経由でデータを取得するため、ネットワークに障害があるとデータの表示ができません。
- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社 近計システムにあります。
- ・このソフトウェアの逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリング等を行うことは、固くお断りします。

免責事項

- ・当社はプログラムの使用ならびに使えなかったことによる損害、不利益に対する責任は負いません。
- ・当社はソフトウェアのバグについては最善の努力をしますが、修正及び再配布の義務は負いません。

《システム構成》



1-1 必要環境

- ・アプリケーション実行用パソコン（以下 PC）
- ・デマンド通報プログラム

1 台 *1
1 式

《用語の略称について》

用 語	略 称
パソコン	PC

《マニュアル内の画面表示について》

マニュアル内の画像については、一部の画面を除き Windows7 の画像で統一しています。
ご使用の環境によっては実際の表示と異なる場合がありますので、ご了承ください。

- *1 弊社で動作確認を行っている OS は以下です。
Windows XP Professional (32bit 版)
Windows 7 Professional (32bit 版・64bit 版)

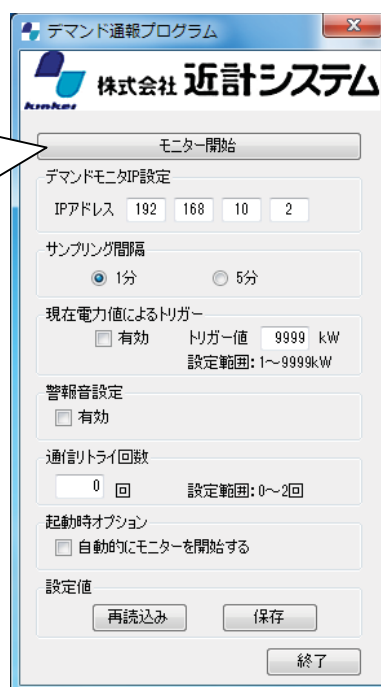
1-2 画面の説明

ここではアプリケーションの画面について説明しています。

《モニタ画面》



《設定画面》

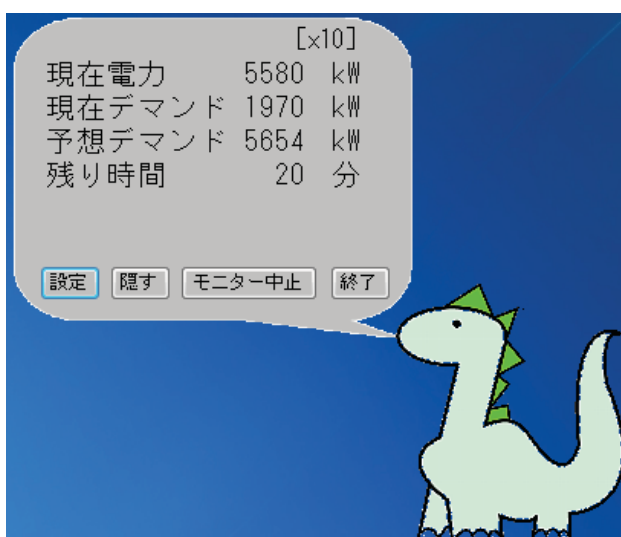


1-2-1 モニタ画面

ここでは、モニタ画面について説明しています。

警報発生時の表示に関しては、（→1-2-3 警報発生時の表示）を参照してください。

- 設定したサンプリング間隔（1分もしくは5分）でデマンドモニタと通信を行い、取得した計測値を表示します。
- [モニター中止]ボタンをクリックした場合はデマンドモニタとの通信を行いません。
※表示は更新されません。



1	倍率表示	デマンドモニタの倍率設定を表示します。 通常は非表示（表示されません） 倍率設定が「×10」の場合は「×10」が表示されます。
2	現在電力	デマンドモニタの現在電力値を表示します。 通常時は黒字で表示されます。 警報発生時は赤字で表示されます。 詳しくは（→1-2-3 警報発生時の表示）を参照してください。
3	現在デマンド	デマンドモニタの現在デマンド値を（黒字）表示します。
4	予想デマンド	デマンドモニタの予想デマンド値を（黒字）表示します。
5	残り時間	デマンド時限の残り時間を（黒字）表示します。
6	[設定] ボタン	設定画面に移行します。
7	[隠す] ボタン	モニタ画面を隠し、タスクトレイで待機します。 再度モニタ画面を表示する場合は、タスクトレイのアイコンをクリックします。 ※ [隠す] 設定を行っている場合、警報発生時はモニタ画面が最前面にポップアップ表示されます。
8	[モニター中止] / [モニター開始] ボタン	デマンドモニタとの通信を停止／開始します。 ※ [モニター中止] ボタン操作後は計測値の更新は行われません。 ※ [モニター開始] ボタン操作時は直ちにデマンドモニタとの通信が開始されます。以後はサンプリング間隔の周期で通信を行います。
9	[終了] ボタン	プログラムを終了します。 （タスクトレイからも消えます）

1-2-2 設定画面

ここでは、デマンド通報プログラムの設定画面について説明しています。

- デマンド通報プログラムを起動すると本画面が表示されます。
- モニタ画面（ポップアップ）表示中は、[設定] ボタンをクリックします。
(モニタ画面を隠している場合はタスクトレイのアイコンをクリックしてモニタ画面を表示します)

デマンド通報プログラム

株式会社 近計システム

モニター開始

デマンドモニターIP設定

IPアドレス 192 168 10 2

サンプリング間隔

☒ 1分 ☐ 5分

現在電力値によるトリガー

☐ 有効 トリガー値 9999 kW
設定範囲: 1~9999kW

警報音設定

☐ 有効

通信リトライ回数

0 回 設定範囲: 0~2回

起動時オプション

☐ 自動的にモニターを開始する

設定値

再読み込み 保存

終了

133 | 42 | 60 | 248

通常5分に

チェックを入れない

有効にする チェックを入れる

2を入れる

チェックを入れる

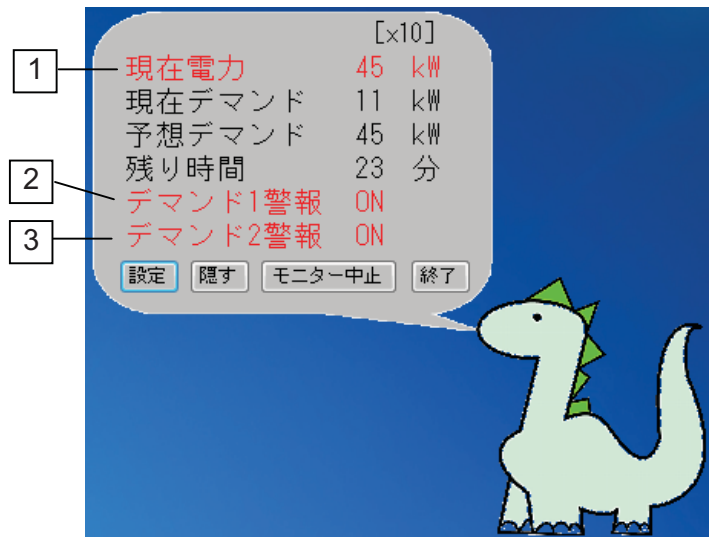
保存して終了

1	[モニター開始] ボタン	設定画面を閉じ、モニタ画面が表示されます。 ※ボタン操作前に指定した設定値を使用して動作します。 (保存された設定値を使用する訳ではありません)
2	デマンドモニタ IP 設定	監視するデマンドモニタの IP アドレスを指定します。 ・初期値は「192.168.10.2」が設定されています。
3	サンプリング間隔	デマンドモニタと通信を行って表示を更新する間隔を表します。 ・1分または5分のどちらかを選択します。 ・初期値は1分が選択されています。
4	現在電力値によるトリガー	現在電力値によるトリガー通知を行うことができます(チェックを付けた場合)。 ・現在電力値がここで設定したトリガー値を超えた場合にポップアップ表示による通知を行います。 ・初期値は「無効(有効にチェック無し)」、トリガー値「9999kW」が設定されています。 ・トリガー値は1~9999kWの範囲で任意に指定できます。 ※トリガー値を設定しても有効欄にチェックが付いていない場合、トリガー通知は行いません。
5	警報音設定	警報の発生をビープ音で知らせることができます(チェックを付けた場合)。 ただし、モニタ画面が隠れているときのみ有効になります。 ビープ音の再生については(→4-1. トラブルシューティング)を参照してください。
6	通信リトライ回数	デマンドモニタにアクセスする際の通信リトライ回数を指定します。 ・0を指定した場合はリトライを行いません。 ・初期値は「0」が設定されています。 ・指定した回数のリトライを行ってもデマンドモニタと通信できない場合は通信異常(もしくはタイムアウトエラー)となります。
7	起動時オプション	ソフト起動時に自動的にモニタ画面を表示します(チェックを付けた場合)。 ・初期値は「無効(有効にチェック無し)」が設定されています。
8	[再読み込み] ボタン	現状の設定を表示します。 ※設定保存前の入力情報は破棄されます。
9	[保存] ボタン	現状の入力情報を保存します。 ※入力情報に誤りがある場合はエラーメッセージが表示されます。
10	[終了] ボタン	プログラムを終了します。 (タスクトレイからも消えます) ※設定を保存せずにプログラムを終了した場合は、指定した設定値は全て破棄されます。

1-2-3 警報発生時の表示

ここでは、警報発生時の表示について説明しています。

- デマンドモニタの現在電力値がトリガー値を超過した際に警報となります（設定要）。
- デマンドモニタでデマンド 1、デマンド 2 警報が発生した際にそれぞれ警報となります（設定不要）。
- 警報発生時は該当する項目が赤字表示となります。
- モニタ画面を隠している場合はモニタ画面が最前面にポップアップ表示されます。
同時に、警報音（ビープ音）を鳴らすことができます（設定要）。



1	現在電力	トリガー設定が有効の場合、トリガー値を超えると赤字で表示されます。 ※警報発生後はトリガー値の 90%を下回った場合に黒字に戻ります。 ※トリガー設定を無効にした場合は黒字となります。
2	デマンド 1 警報 ON	デマンドモニタでデマンド 1 警報が発生している場合に（赤字）表示されます。 通常時は非表示です。
3	デマンド 2 警報 ON	デマンドモニタでデマンド 2 警報が発生している場合に（赤字）表示されます。 通常時は非表示です。

2. インストールとアンインストール

2-1 必要ファイルについて

デマンド通報プログラムのインストールに必要な下記ファイルを用意してください。

ファイル名	内容
DMXdmonitor.zip	デマンド通報プログラムのインストールファイル 圧縮ファイルを解凍すると以下の2つのファイルとなります。 ・ setup.exe ・ DMXdmonitorSetup.msi
FF05272-xxx.pdf	本書（取扱説明書）
dotnetfx35setup.exe	.NET Framework3.5 SP1 のインストールファイル ご利用の PC にインストールされていない場合は （→2.2 Microsoft .NET Framework3.5 SP1 をインストールする）を 参照し、インストールしてください。

2-2 Microsoft .NET Framework3.5 SP1 をインストールする

デマンド通報プログラムをインストールするには、「Microsoft .Net Framework3.5 SP1」が必要です。
Microsoft .Net Framework3.5 SP1 がインストールされていない場合は下記手順に従ってインストールを行ってください。

※ Windows7 では標準で OS に含まれますので以下の操作は不要です。

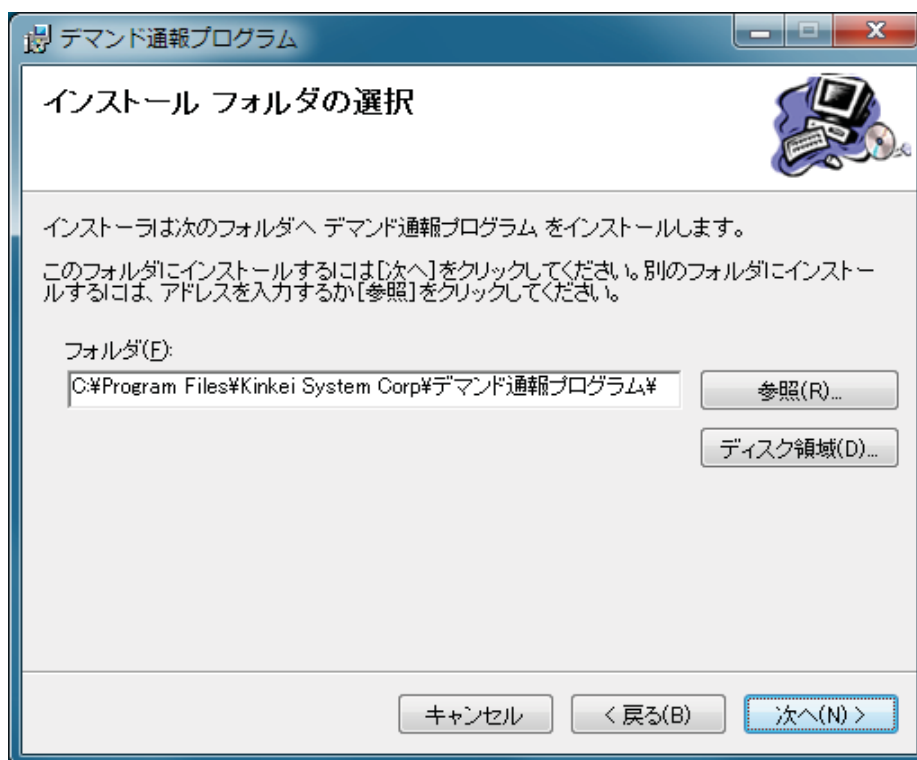
- ① [コントロールパネル] の [プログラムと削除] を開きます。
- ② プログラムの一覧に「Microsoft .Net Framework 3.5 SP1」が存在しないことを確認します。
※ 一覧に存在する場合は以下の操作は不要です。
- ③ ダウンロードした実行ファイル：「dotnetfx35setup.exe」を実行します。
- ④ インストールウィザードが起動します。
以後は画面に表示される指示に従ってインストールしてください。

2-3 デマンド通報プログラムをインストールする

- 事前に Microsoft .NET Framework3.5 SP1 をインストールしておいてください。
- インストールする前に、起動しているすべてのプログラムを終了してください。
（タスクバーにプログラムのアイコンが表示されていない状態にしてください）
- 既にインストールされているデマンド通報プログラムをバージョンアップする場合は、旧バージョンのデマンド通報プログラムをアンインストールした後、新バージョンのデマンド通報プログラムをインストールしてください。
- デマンド通報プログラムを再インストールする場合は、アンインストールを事前に行ってください。

※管理者（Administrators）グループのユーザでログオンして、インストールしてください。

- ① デマンド通報プログラムのインストールファイルを適当なフォルダに解凍し、セットアップファイル（setup.exe）をダブルクリックします。
- ② インストールウィザードが起動します。
画面に表示される指示に従って操作してください。
 - ・インストールを中止したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックし、1つ目の確認メッセージで「はい」を選択、2つ目の確認メッセージで「閉じる」ボタンをクリックしてください。
- ③ インストールフォルダの選択画面では以下参考に指定してください。
 - ・インストール先を変更したい場合は、フォルダ欄に任意のパスを入力してください。
特に指定しない場合は初期フォルダのままで構いません。
初期フォルダ：「C:\Program Files\Kinkei System Corp\デマンド通報プログラム\」（Windows 7(64bit)の場合は「C:\Program Files (x86)\Kinkei System Corp\デマンド通報プログラム\」）
 - ・デマンド通報プログラムはコンピュータ単位で（全てのユーザに対して）インストールされます。



- ④ ユーザーアカウント制御画面が表示されるので「はい」ボタンをクリックします。
- ⑤ インストールが完了したら「閉じる」ボタンをクリックします。
 - ・デスクトップ上にショートカットが作成されます。
 - ・スタートアップにデマンド通報プログラムが追加されます。

2-4 デマンド通報プログラムをアンインストールする

※インストールしたときと同じユーザでログオンして、アンインストールしてください。

- アンインストールする前に、起動しているすべてのプログラムを終了してください。
(タスクバーにプログラムのアイコンが表示されていない状態にしてください)
- ① [コントロールパネル] の [プログラムと機能] を開きます。
(Windows XP の場合は、[コントロールパネル] の [プログラムの追加と削除] を開きます)
- ② プログラムの一覧が表示されるので、[デマンド通報プログラム] を選択し、[アンインストール] ボタンをクリックします。
(Windows XP の場合は、[削除] ボタンをクリックします)
- ③ 確認メッセージが表示されるので [はい] ボタンをクリックします。
- ④ ユーザーアカウント制御画面が表示されるので [はい] を選択します。
- ⑤ アンインストールが完了したら、プログラムの一覧を閉じます。

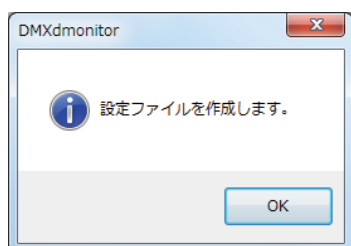
3. 操作方法と動作

3-1 デマンド通報プログラムの起動と終了

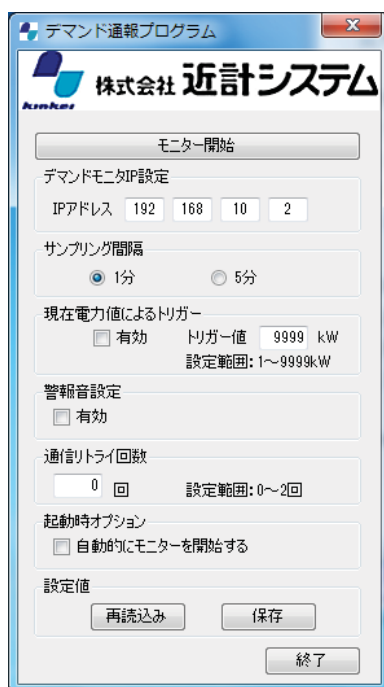
※インストールしたときと同じユーザでログオンして、操作してください。

- オペレーティングシステムが Windows 7 の場合、別途操作が必要です。
(→3-2 Windows 7 上での操作) を参照してください。

- ① 「デマンド通報プログラム」アイコンをダブルクリックします。
初めて起動した場合は以下のメッセージが表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。



- ② デマンド通報プログラムが起動し、設定画面が表示されます。
※起動時オプション欄の「自動的にモニターを開始する」にチェック有りの場合は、モニタ画面が表示されます。



- ③ 設定を行い、[モニター開始] ボタンをクリックします。
各操作方法については、次頁以降を参照してください。
- ④ デマンド通報プログラムを終了するには、[終了] ボタンをクリックします。
※モニタ画面の[終了] ボタンからも終了できます。

3-2 Windows 7 上での操作

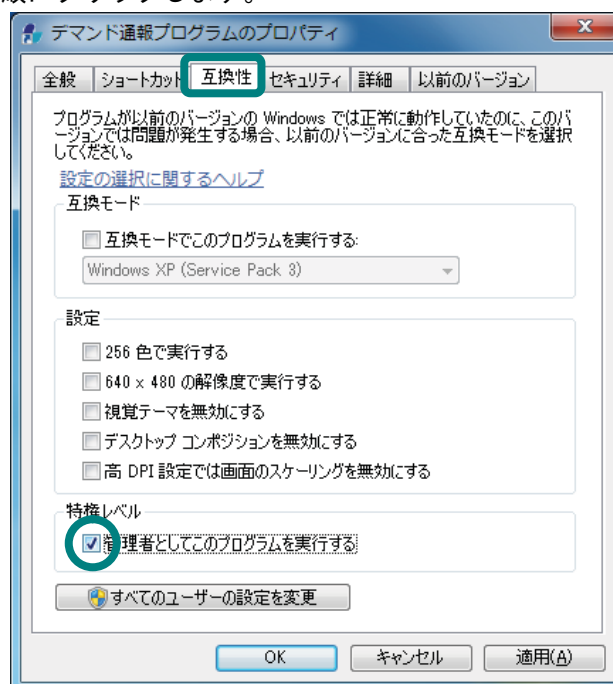
ここでは、オペレーティングシステムが Microsoft Windows 7 である PC にデマンド通報プログラムをインストールした場合に必要な設定について説明しています。

該当する PC 上で操作を行う場合は、必ず参照してください。

《デマンド通報プログラム起動前の操作》

- デマンド通報プログラムをインストールした後、最初に起動する前に行ってください。

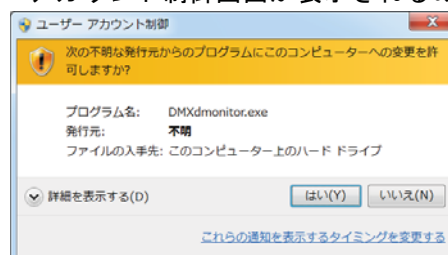
- ① [デマンド通報プログラム] アイコンにカーソルを合わせ、右クリックでメニューを表示させ、[プロパティ] を選択します。
- ② プロパティが表示されるので、[互換性] タブを選択します。
- ③ 特権レベルの「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックを入れ、[適用]、[OK] ボタンの順にクリックします。



《デマンド通報プログラム起動時の操作》

- デマンド通報プログラムを起動する際、毎回行ってください。

- ① [デマンド通報プログラム] アイコンをダブルクリックします。
- ② ユーザーアカウント制御画面が表示されるので、[はい] を選択します。

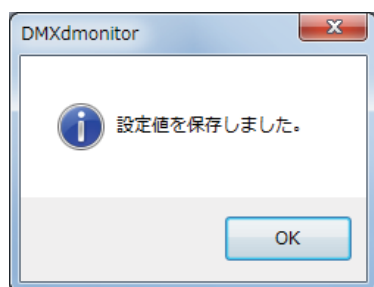


- ③ デマンド通報プログラムが起動し、設定画面が表示されます。
以後の操作は、（→3-1 デマンド通報プログラムの起動と終了）と同様です。
そちらを参照してください。

3-3 設定方法

ここでは、デマンド通報プログラムの設定方法について説明しています。




- ① 設定画面を開きます。
- ② 各パラメータを入力、または選択します。
- ③ [保存] ボタンをクリックします。
- ④ 以下メッセージが表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。



3-4 タスクトレイアイコン

ここでは、デマンド通報プログラム起動中にタスクトレイに表示されるアイコンについて説明しています。

- デマンド通報プログラムの状態により、アイコンの表示が異なります。
- アイコンをクリックするとモニタ画面が表示されます。
- 設定画面表示中はアイコンが表示されません。

アイコン	状態
	正常時の表示です。
	現在電力値超過、もしくはデマンド警報出力時の表示です。
	異常（通信異常発生、タイムアウトエラー）時、モニタを実行しない時の表示です。

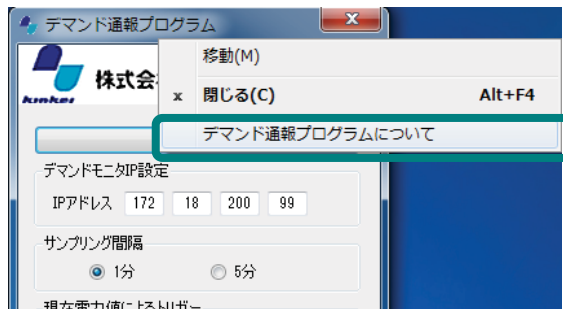
- アイコンを右クリックするとメニューが表示され、「終了」を選択することでアプリケーションを終了することができます。



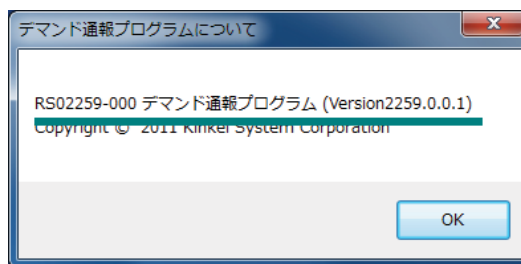
3-5 バージョン確認

ここでは、デマンド通報プログラムのバージョンを確認する方法について説明しています。

- ① デマンド通報プログラムを起動し、設定画面のタイトルバーを右クリックします。
- ② メニューから「デマンド通報プログラムについて」を選択します。



- ③ バージョン情報のダイアログが表示されます。
ダイアログを閉じる場合は「OK」ボタンをクリックします。



4. 補足

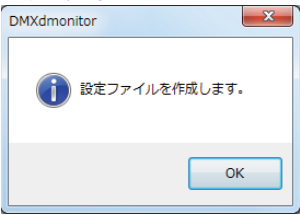
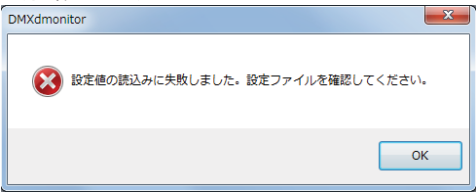
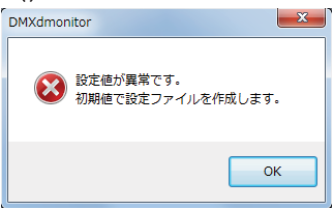
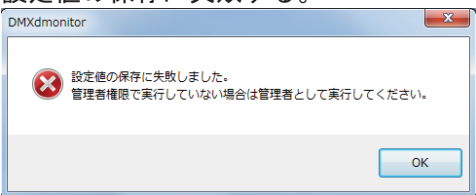
4-1 トラブルシューティング

ここではトラブル発生時の症状とその処置について説明しています。

《全般》

症 状	処 置
デマンド通報プログラムがインストールできない	管理者権限を持つユーザでインストールを行ってください。
.NETFramework3.5SP1 のセットアップ画面が表示される。 (WindowsXP の場合のみ) 	.NET Framework3.5SP1 のインストールを行わずにデマンド通報プログラムのインストールを開始すると表示されます。画面の指示に従って.NET Framework3.5SP1 のインストールを行ってください。 .NET Framework3.5SP1 のインストール後にアプリケーションのインストールが開始されます。 ※インストールを行うには PC がインターネットに接続されている必要があります。
通信異常（もしくはタイムアウトエラー）が発生する	デマンドモニタとの通信が正常に行えない場合に通信異常（もしくはタイムアウトエラー）が発生します。 デマンドモニタの IP アドレスが正しいことを確認してください。 また PC とデマンドモニタの間にプロキシサーバ等通信を阻害する要因がないことを確認してください。
前回使用時と設定値が異なる	以下の状況で発生します。 1. 設定変更後に設定の保存をされなかった場合 設定を変更した場合は設定の保存を行わないとアプリケーション終了時に保存していない設定値は破棄されます。 設定変更後は設定の保存を行ってください。 2. 実行するユーザが複数存在する場合 ・ Windows7 をお使いの場合 アプリケーションを管理者として実行した場合、インストール先のフォルダに設定ファイルが保存されます。 管理者として実行するユーザが複数存在する場合、1 つの設定ファイルを複数のユーザが更新するため、前回使用時と設定が異なる場合があります。 ・ WindowsXP をお使いの場合 インストール先のフォルダに設定ファイルが保存されます。 全てのユーザが同じファイルを使用します。 3. 異なるユーザ権限で実行した場合 (Window7 の場合) 管理者権限で実行する場合と権限がなく実行された場合、OS の仕様により設定ファイルを保存される場所が異なります。 ・ 管理者権限で実行した場合 →インストール先フォルダ内 ・ 管理者権限でなく実行した場合 →C:¥Users¥(ユーザ名)¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Program Files¥kinkei System Corp¥デマンド通報プログラム¥kinkei.cfg

《設定ファイルの読み書き》

症 状	処 置
<p>設定値の読み込みに失敗する。 (起動時)</p> 	<p>初回起動時など設定ファイルが存在しない場合に発生します。 設定ファイルが新規に作成されます。 設定画面より設定を行ってください。 通常この表示は、次回以降起動させた場合は表示されません。</p>
<p>設定値の読み込みに失敗する。 (再読み込み)</p> 	<p>再読み込み実行時に設定ファイルが存在しない場合に発生します。 現在の設定を保存するもしくはアプリケーションを終了し再度起動させてください。 設定ファイルが新規に作成されます。 設定画面より再度設定を行ってください。</p>
<p>設定の読み込みに失敗する ()</p> 	<p>設定値に異常がある設定ファイルを読み込んだ場合に発生します。 設定ファイルが新規に作成されます。 設定画面より再度設定を行ってください。</p>
<p>設定値の保存に失敗する。</p> 	<p>設定の保存時にファイルを書き込む権限がない場合に発生します。 アプリケーションを管理者として実行することで回避することができます。 WindowsXP をお使いの場合、制限付きアカウントのユーザは管理者として実行することができないため、設定ファイルの保存をすることができません。</p>

《OS の権限》

症 状	処 置
<p>設定の保存を行ったが設定ファイルがインストール先に作成されない</p>	<p>Windows7 をお使いの場合で管理者として実行を行わない場合、設定ファイルは以下に作成されます。 C:\¥Users¥(ユーザ名)\¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Program Files¥kinkei System Corp¥デマンド通報プログラム¥kinkei.cfg</p>
<p>初回起動時に初期値以外の設定で起動する</p>	<p>複数のユーザで使用し、インストールフォルダ内に設定ファイルが既に存在する場合に発生します。</p>

《モニタ画面》

症 状	処 置
警報発生（ポップアップ発生）時に ビーブ音が再生されない	お使いのパソコンの環境によって、ビーブ音再生方法が異なります。 お使いの環境の再生方法をご確認ください。 1. マザーボード上のスピーカーで再生される。 2. サウンドデバイス経由で再生される。 （サウンドデバイスにスピーカー等の接続が必要です。 またミュート設定の場合は再生が行われません。）
表示が更新されない	モニタを実行しない状態となっていないことを確認してください。 モニタを実行しない時は[モニター中止] ボタンに代わり[モニター開始] ボタンが表示されます。 またタスクバーに表示されるアイコンが黄色となります。
モニタ画面が表示されない	複数のディスプレイをお使いの場合に発生する場合があります。 アプリケーションは設定の保存を行う際にモニタ画面の表示位置を保存します。 複数のディスプレイをお使いのときに設定の保存を行い、その後表示していたディスプレイを無効に設定された場合も保存された表示位置で表示を行います。 設定ファイルを編集もしくは削除し、表示位置のリセットを行ってください。
頻繁にポップアップ表示が行われる	警報出力中にモニタ画面を隠す設定にした場合、次回通信時に警報が継続している場合はモニタ画面のポップアップ表示を行います。 警報が解除された場合は次回警報発生時までポップアップ表示は行われません。
現在電力トリガー値を下回ったが表示が 赤字のままになる	現在電力トリガー値による警報が発生した場合、解除の条件は現在電力トリガー値の 90%を下回った場合になります。

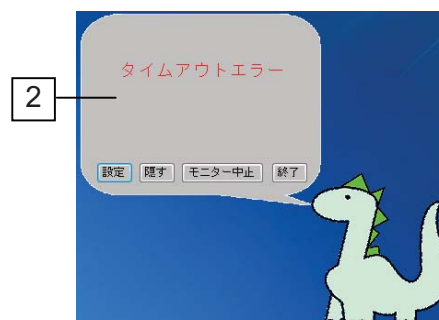
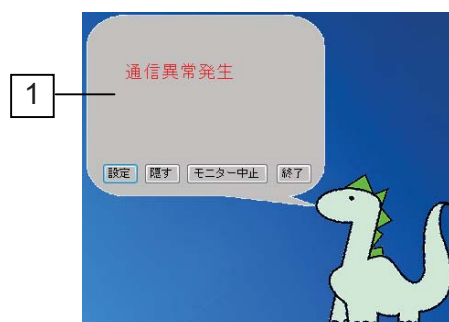
《OS の DPI 設定》

症 状	処 置
設定画面で一部のコントロールの表示が 大きくなる	OS の DPI の設定を変更されている場合、DPI の設定値によっては一部のコントロールの表示が大きくなる場合があります。

4-2 通信異常

ここでは、通信異常発生時の動作について説明しています。

- デマンドモニタと通信が出来ない場合、通信異常（もしくはタイムアウトエラー）が表示され、計測値等は非表示となります。
- 次回の通信時に正常に戻った場合、計測値の表示に戻ります。



1	通信異常発生	デマンドモニタとの通信が切断された場合やデータの取得が正常に行えない場合に（赤字）表示されます。 通常時は非表示です。
2	タイムアウトエラー	デマンドモニタとの通信がタイムアウトとなった場合に（赤字）表示されます。 通常時は非表示です。

5. 問い合わせ先

本取扱説明書に関するお問い合わせは、弊社営業担当までお尋ねください。

〒559-0031 大阪府大阪市住之江区南港東 8-2-61
株式会社 近計システム 営業本部

電話 06-6613-2591
FAX 06-6613-2592

弊社営業日 9:00～17:30 受付

デマンド通報プログラム
取扱説明書 FF05272-000